

【さんすう】

いっしゅうかんのあいだ、すこしずつやってみよう。

<べんきょうすること>

◆「いくつかな」（きょうかしょ 10 ページ～13 ページ）

(1) 1（いち）、2（に）、3（さん）、4（し）、5（ご）のかずをこえをだしてよんでみよう。

(2) すうじとおなじかずだけ○のなかにいろをぬろう。

(3) えのなかに2 このものはあるかな。まるでかこんでみよう。



えのなかに2 こあるものは、1 しゅるいだけじゃないよ。

(4) えのなかで4 こあるものをまるでかこんでみよう。

(5) 11 ページにある1、2、3、4、5のすうじをかくれんしゅうをしよう。

1

2

3

4

5



すうじは、ていねいになぞって、れんしゅうしてから、かこう。

(6) 1、2、3、4、5のすうじとおなじかずのブロックをつくえのうえにならべてみよう。



かぞえるときは、こえにだしてみるといいよ。

＜保護者による関わり方のポイント＞

◆「いくつかな」（教科書 P10～12）

- ・子どもが、よく見て考えていたり、ていねいになぞっていたりしていたら、褒めてください。次、学習する意欲につながります。
- ・一人で学習することが難しそうな場合は、学習が終わった後に、(3)「まだあるかもしれないよ」、(6)「ブロックの数と数字は同じだった」などと声をかけ、一緒に振り返ってあげるかかわりが大切です。